

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2024
令和6年1月29日発行
No.123

やまのべ議会だより

2024年1月号 VOL.123



サンタさん
ありがとう！

新年のごあいさつ・抱負 新しい年を迎えて… 2～3

定例会 一般会計補正予算の内容は …… 4～5

一般質問 町政のここはどうする? …… 6～9

議会活動報告 新しい町への挑戦 …… 10～11

写真／山辺町手をつなぐ育成会の
クリスマスパーティー(関連記事 12ページ)

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



●発行／山形県山辺町議会 ●編集／広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷／藤庄印刷株式会社



第4回定例会

ニット議会開催

～お気に入りのニットで、町をPR～

議員と町幹部職員が町特産のニットを着用し、和やかな雰囲気の中、熱い議論を交わしました。

表紙の説明



山辺町手をつなぐ育成会のクリスマスパーティーに伺ってきました。
「きよしこの夜」を全員で歌って始まり、そしてケーキを食べながらのティータイム。サンタさんからのプレゼントにはみんなニコニコとても嬉しそうでした。
そのあとは参加者全員で音楽に合わせて自由におどります。思い思いに踊るみんなの笑顔は太陽のようでした。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

12月定例会は「ニット議会」。色彩豊かなニットに身を包んだ町幹部職員や議員で華やかさが漂う中で、ホットな議論が行われました。メディアからの取材も多く、地場産業のニットを大いにPRできたと思います。

さて、今回の議会だよりは、初めて全議員の今年の抱負を載せました。皆、輝かしい未来を創るため、行動していく決意がうかがわれます。

今年も「見える」議会だよりとなるよう編集してまいりますので、皆さんから、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

村山 幸一 記

- 発行責任者 神保 稔
- 広報常任委員会 竹俣 幸一
- 委員長 遠藤 真由美
- 副委員長 佐藤 裕二
- 委員 渡邊 利和
- 委員 木村 誠也
- 委員 鈴木 誠也

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



2024年 あけましておめでとろございます

新年のごあいさつ と抱負

～今年もよりよい町づくりに向けて 頑張ります!～

令和5年8月の町議会議員選挙にて新しい議会体制となり、初めての新年を迎えました。議員一人ひとりから、新年の挨拶と今年の抱負を述べさせていただきます。

開かれた議会をめざして日々邁進してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。

新年のごあいさつ・抱負

今年の抱負 /

鍋倉竹志が、新年を迎え議会活動で目指すこと!
「町民が誇れるやまのへ」の実現
「町民の目線、町民の生活」が起点



鍋倉 竹志

(所属委員会等)
厚生産業常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員

今年の抱負 /

本年も、そして新たな4年間よろしくお願いたします。全ての人にやさしい町、安全安心で暮らせる町のために力を尽くしてまいります。



渡邊 裕二

(所属委員会等)
副議長
厚生産業常任委員会 委員
広報常任委員会 委員
議会運営委員会 委員

今年の抱負 /

街の幸福度・住み続けたい町界内3位の山辺町。ふるさと納税の増額目指して町民の要望を少しでも多く実現し移住定住の促進を目指す。



三浦 正好

(所属委員会等)
総務文教常任委員会 委員

今年の抱負 /

私は日本共産党の新人議員です。これまで2回の本会議で一般質問をしました。これからも質問ができるように努力してまいります。



日野 一春

(所属委員会等)
厚生産業常任委員会 委員

今年の抱負 /

気候異変や地域紛争、デフレ下の異常な物価高など予期せぬ事の多い昨今、今年こそ明るい話題の多い年にしたい。



樋口 和男

(所属委員会等)
厚生産業常任委員会 副委員長
議会運営委員会 副委員長

今年の抱負 /

人と人とのつながりを大切にしながら、子どもからお年寄りまで生きがいと居場所が持てるよう努力していきたいです。



遠藤真由美

(所属委員会等)
総務文教常任委員会 委員
広報常任委員会 委員

今年の抱負 /

Happy New Year.
町民の皆さまの声と言葉にできない思いを、耳と心でしっかりと聴いて、住みたい町、住み続けたい町にしていきたいです。



竹俣 朋

(所属委員会等)
厚生産業常任委員会 委員
広報常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員

今年の抱負 /

地域を元気に!
誰もが健やかで心豊かに生活できる持続可能な安心社会を実現させるため、地域とともに未来をひらいていきます。



村山 幸一

(所属委員会等)
厚生産業常任委員会 委員
広報常任委員会 副委員長

今年の抱負 /

人口減少、少子高齢化、自然災害など山積する課題に、スピード感をもって取り組み、安心・安全、住みよいまちづくりに努めます。



神保 稔

(所属委員会等)
議長
総務文教常任委員会 委員

今年の抱負 /

「みんなの声を大切に」を信条に、4期目。さらに、住み続けたい町づくり、互近助パワーづくり、地域活性化を目指し、奔走します。



武田啓一郎

(所属委員会等)
総務文教常任委員会 副委員長
議会運営委員会 委員長

今年の抱負 /

農業、商工業、文化の発展に取り組み、まちの課題を積極的に町政へ。住民の皆さまと行政の架け橋になることが私の唯一の使命です。



佐藤 利和

(所属委員会等)
総務文教常任委員会 委員長
広報常任委員会 委員
議会運営委員会 委員

今年の抱負 /

新年明けましておめでとろございます。町民に幸ありますように!!
今年も、有言実行、知行合一で頑張ります。



鈴木 誠也

(所属委員会等)
総務文教常任委員会 委員
広報常任委員会 委員

誰ひとりとり残さない まちづくりのために

令和5年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ 4億1586万2000円を追加し、
総額66億8638万6000円に！

いつでもニット ニット議会
定例会
12月6日～8日

一般会計の主な補正予算

ふるさと応援事業（実績見込みによる）

代理納付システム取扱手数料に…………… 206万円の増
ふるさと納税事業支援サービス委託料に…………… 1億818万円の増
ふるさと応援基金積立金に…………… 1億8000万円の増

住民基本台帳事務事業

マイナンバーカード氏名のローマ字表記へのシステム改修に…………… 465万円の増

教育・保育施設給付事業（年度途中で転入されたお子さんの増による）

広域入所委託に…………… 190万円の増

後期高齢者健康診査事業（実績見込みによる）

健康診査にかかる委託に…………… 205万円の増

西黒森・檜実沢・摂待飲雑用水供給施設事業

漏水対策修繕などに…………… 108万円の増

畜産振興対策事業

畜舎省エネ設備導入支援に…………… 157万円の増

道路・橋梁総務事業（県建設事業の町負担金として）

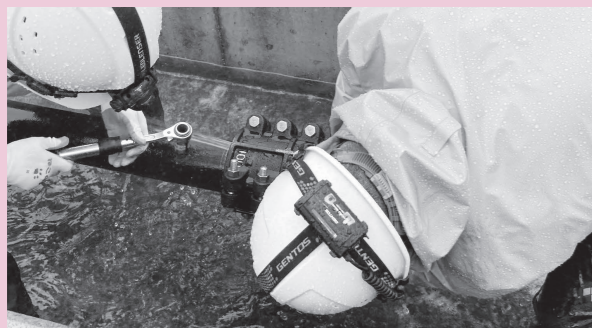
地方主要道山形朝日線の大寺北垣地内側溝整備に…………… 100万円の増

除雪事業

道路除雪業務委託に…………… 5000万円の増

常備消防活動事業

消防事務委託に（前年度決算の精算および調整による）…………… 1360万円の増



老朽管の漏水修繕



快適な環境ですくすく育て

議会用語



ぎあん 議案

町民サービスを行うためには、町議会での議決が必要です。その議会の議決を求めるために、町長や議員などが議会に提案する案件のことをいいます。

ぎあんしんぎ 議案審議

議案について、説明を聞き、質疑、討論をし、表決するという一連の流れをいいます。

せいがん 請願

日本国憲法（第16条）に規定された国民の権利の中の一つです。国または地方公共団体の機関に対して、文書にて意見や希望を表明することをいいます。地方議会へ請願する場合は、（地方自治法第124条により）1名以上の議員の紹介が必要となります。

条例の制定

○山辺町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
人事院および山形県人事委員会勧告に準じて、一般職の職員の給与を民間との格差をなくすため改定するものです

○山辺町国民健康保険税条例の一部改正
全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するため、出産、また出産予定者の保険税を、届け出により減額するものです

○山辺町国民健康保険税条例の一部改正
全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するため、出産、また出産予定者の保険税を、届け出により減額するものです

議案審議

町道路線の認定

○開発行為により宅地開発された、境ノ目地内と上野地内の道路を生活に密接する路線として認定



定例会のあらまし

令和5年第4回定例会が、12月6日から8日までの3日間の日程で開催され、7名の議員が一般質問を行いました。条例の一部改正2議案と、町道路線の認定2件、一般会計補正予算などを審議し、いずれも全会一致で可決されました。

請願2号

請願名	「健康保険証廃止の中止を求める意見書」の提出に関する請願		
請願者	山辺町革新懇話会（準備会） 峯田 博		
趣旨	廃止後は本人の申請により1年間有効の資格確認書を提供との方針だが、申請が難しい方などが毎年手続きする負担と、迅速な発行を求められる役場の事務負担も相当なものになる。		
紹介議員	日野 一春	結果	不採択

不採択理由：マイナンバー法等が一部改正され、健康保険証との一本化が行われることが法律ですでに定められているため。また、健康保険証が廃止となっても、本人の求めに応じ必要な保険診療が受けられる「資格確認書」が提供されるため。

請願3号

請願名	健康保険証を廃止せず存続を求める意見書提出を求める請願書		
請願者	山形県社会保障推進協議会 会長 高木 紘一		
趣旨	マイナンバー保険証については他人の情報がひもづけられるなどのトラブルが明らかになっている。災害・停電等のシステム障害の際は保険診療そのものができなくなる可能性もある。		
紹介議員	日野 一春	結果	不採択

不採択理由：マイナンバー法等が一部改正され、健康保険証との一本化が行われることが法律ですでに定められているため。また、健康保険証が廃止となっても、本人の求めに応じ必要な保険診療が受けられる「資格確認書」が提供されるため。



一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



定例会のお知らせ
次回の定例会は2月下旬開会予定です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会議務局)

12月の定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。

- 渡邊 裕二** **元気な農業** 近年多発する自然災害における農業者への支援策は
- 樋口 和男** **文化財保護** 山形県文化財指定「巡見使の宿」の行方は
- 佐藤 利和** **未来のまちづくり** まちの企業誘致及び新広域斎場整備基本構想の取り組みは
- 日野 一春** **先生を応援します** 教職員の働き方改革と、対策。当町の教育委員会の役割と職務権限について
- 三浦 正好** **町の活性化** 地元商工業に支援を
- 鈴木 誠也** **町の宝** ①更なる温泉客の利用拡大は 町民に温かいプレゼントを ②町の宝、重要文化財の維持管理と保全は
- 村山 幸一** **健康づくり** 町ぐるみで健康づくりを推進する事業展開は

自然災害における 農業者への支援策は



渡邊 裕二 (町長) より良い支援を検討していく

質問 近年多発する自然災害による農作物被害に、農業を継続させるための支援は。

答弁 災害時には山形県と連携し、さまざまな支援を行ってきた。また、災害に備えるための収入保険に新規加入時の保険料を補助する「収入保険新規加入奨励事業」その他「農業経営基盤強化資金利子補給事業」「果樹園優良品種導入事業」など、多くの支援を実施してきた。

質問 収入保険の加入率が少ないようだが、保険料が高いのか。

答弁 収入が500万円程度で保険料が4万2千444円、積立金が11万2千500円。積立金は補てんに使われない限り持ち越されるが、これが高いと思われるのではと考える。

質問 たくさんのおいしい果物をPRしていただき、災害に負けないおいしい山辺の農作物を作り続けていただくためにも、できるだけ支援をお願いしたいが、町長の考えは。

答弁 農工商すべての方が、いつまでも頑張るプレーヤーでいたいただくために支援をしていく。災害に強い町への取り組みも考えていく。期待してほしい。



目指せ品質日本一

質問 「さくらんぼブランド力継続支援事業」を令和4、5年の2年間補助している。ハウス修繕や電動剪定ハサミなどの省力化への補助をし、10件の支援を行った。

質問 「さくらんぼブランド力継続支援事業」は2年間のみだが、今後サクランボ以外の果物への支援は。

答弁 ニーズを聞きながら検討していく。

未来のまちづくり 企業誘致と新斎場の まちの取り組みは



佐藤 利和 (町長) 関と連携を密にし、新斎場は広域連携で整備に取り組み

質問 企業立地の現状は。

答弁 まちの企業立地の現状は、大型スーパーや薬局の出店、日常生活に必要な施設の立地が一応の落ち着きをみせている状況にある。県都に接しており、高速道のインターチェンジが近いこともあり、好立地のために企業からの引き合いがあることも事実ではあるが、土地利用関係法令によりさまざまな規制があることから大規模な商業・工業施設の受け入れは難しいのが現状である。

質問 企業の増収という側面からはどうか。

答弁 企業誘致は、新たな雇用の創出や地域経済の活性化、税収の面では法人町民税、固定資産税の増収、人口増加など町勢伸展に結び付く大事な施策と捉えている。企業誘致は、持続可能なまちづくりなどにも大きな役割を果たすものと考えているため、課題を解決しながら積極的に取り組んでいく。

質問 新広域斎場整備基本構想の現段階で町長の考えは。

答弁 令和4年のはじめに山形市、上山市および山辺町の2市1町で検討することに合意し、基本構想の完成に向けて協議を行っている。基本構想完成後、内容を精査し、広域での新斎場整備の判断を行いたいと考えている。

文化財保護



樋口 和男 (町長) 持続可能な文化財に向けて検討していく

山形県文化財指定 「巡見使の宿」の行方は

質問 旧吉田家住宅「巡見使の宿」の解体した部材の損傷が激しくなっている原因は。また部材の調査はいつ行ったのか。

答弁 損傷原因は、紫外線や湿度などによるもので、調査は県文化財保護指導員による複数回の部材確認を行っている。利用出来る部材は2、3割程度と指導いただいている。

と次の3つをあげられる。一、事業費1億1千万円のうち県より2分の1の補助を要請したが、500万円の提示で残りは町の地債で賄うよう求められる。二、地元の皆さんの声として、辺地債では道路整備を優先すべきとする意見が大勢で復元工事を見送った経緯がある。三、解体した部材の損傷が激しく、不足している材料の調達が困難であり、復元工事は困難ではないかと県の保護指導員より意見をいただいている。

また、持続可能な文化財に向けて検討していく。

質問 旧吉田家住宅を解体後23年ほど経過し、これまで3名で4回の一般質問を行っており、「指定の取り下げに向けて、県と協議を進めていく」と答弁を繰り返している。その理由を要約する

県の解除は、「よほど」の理由のない限り、つ



平成12年12月解体された旧吉田家住宅の跡地

質問 企業誘致について、町民にとっての雇用の確保、および町の



あらたな企業をわがまちに

先生を
応援します

教職員の働き方改革と、 対策は



春日 一 (町長)
重労働を防ぐ取り組み
を推進する

質問 昨年、教員の過労死裁判の報道。1、富山県市立中教員40代がくも膜下出血で死亡。遺族は過労死であると提訴。富山地裁は県と市に計8300万円の賠償を命じ控訴せず確定。2、福井県町立中の新任教員20代が自死。遺族は過労死であると提訴。福井地裁は県と町に計6500万円の賠償を命じ控訴せず確定。教育評論家は「一番の原因は公立学校の教員に残業代が出ない給与特別措置法があるため抜本的に改める必要がある」として国の改革の動きが鈍いのお伺いする。

答弁 町教育委員会は教職員の勤務時間を客観的に把握する管理機器を導入している。毎月、各学校へ「時間外在職等時間月例調査」を行い勤務状況を把握している。教職員の過重労働を防ぐ取り組みを推進していく。

質問 学校長の役割と権限・裁量は。

答弁 学校長の職務は人事管理など学校運営に関する一切の事項を処理する。長時間労働者に対する面接指導、毎月の時間外在職時間を適切に把握し、適宜指導や助言を行っている。

質問 私が所属する政党機関紙新

聞の2016年調査では公立学校のタイムカード導入率は6.1%。当町各学校の勤務時間管理の状況と、これからの対応は。

質問 町教育委員会は教職員の勤務時間を客観的に把握する管理機器を導入している。毎月、各学校へ「時間外在職等時間月例調査」を行い勤務状況を把握している。教職員の過重労働を防ぐ取り組みを推進していく。



教職員の主たる職場は学校

町の
活性化

地元商工業に応援を



正好 三浦 (町長)
め取り組んでいく

質問 飲食やガソリンなどは、町民ができるだけで町内で購買するだけで地元企業の応援になると思いますがどうか。

答弁 町民消費を喚起し、町外流出を防ぎ、地元事業者の活性化を図る「プレミアム付き商品券発行事業」を実施し、令和2年度から令和4年度まで総額約6億円が町内事業者に還元されている。

質問 「やまのべ・まるごと・フェスティバル」では、地元でのさらなる販売促進に寄与できたと考えている。

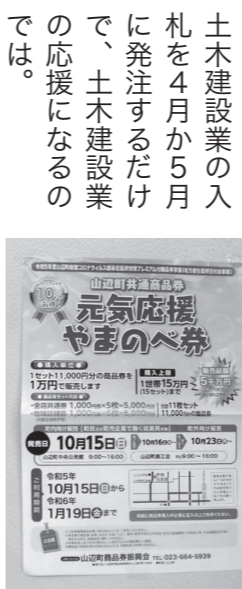
答弁 開催回数は、実行委員会が協議・検討していくものである。

質問 年度中にしなければならぬ土木建設業の入札を4月か5月に発注するだけで、土木建設業の応援になるのでは。

答弁 入札については、きちんと法令に則って行っていきたくと考えている。

質問 地元企業を応援することは、町として考えている。

答弁 4月から5月での発注については、公共工事の施工時期が平準化なるようにとの国からの指導に基づき、新年度に入ると各工事担当課で速やかに工事発注の準備を進めている。今後も早期の工事発注により公共工事の平準化を図れるように努力していく。



商工業への応援を

町の宝

やまのべ温泉の利用増加は



誠也 鈴木 (町長)
民間事業者の創意工夫
やノウハウを活用

質問 利用増加のため、ふるさとづくり事業基金で住民に温かいプレゼントをする考えはないか。

答弁 ふるさとづくり事業基金を「利用料金の割引」や「回数券のプレゼント」へ活用することはできない。

質問 指定管理者とのコラボで創設40周年、一千万人來客など盛大なイベントを開催し、住民の利用増加を図ってはどうか。

答弁 民間のノウハウを生かした企画などを実施し、取り組んでいる。

質問 町としても連携、協議しながら推進していく。

答弁 生家の将来的な整備を

質問 山辺温泉の定期的な館内清掃を

答弁 山辺北部公民館運営協議会と協力しながら維持管理に努めていく。



やまのべ温泉40周年

健康
づくり

町ぐるみで健康づくりを 推進する事業展開は



幸一 村山 (町長)
「輝らりやまのべ」
健康づくりを推進する

質問 「検診世帯調査票」の取りまとめを、地区委員の配布・回収から、個別世帯へ郵送・個別返信に変わることで、回収率、検診率の減少が懸念されるが、その対応は。

答弁 未回収世帯への対応は、主に広報紙や町ホームページなどを活用して健診啓発と受診勧奨していく。

質問 「輝らりやまのべ健康プラン21」の次期計画策定に向けた今後の取り組みと対策は。

答弁 町主催のイベントや各種事業で活用し、健康について考える機会を提供していきたい。

質問 令和4年2月に明治安田生命保険相互会社と「健康増進に関する協定」を締結しているが、その協定をどう生かそうとしているか。

答弁 町保健福祉センターでは、健康運動指導士による「輝らりやまのべ健康教室」を開催している。今後も、町で展開している事業の情報発信とともに、他市町村の関連事業などを参考にしながら、町ぐるみで健康づくりを推進していく。

質問 令和2年に実施した際に、店舗側から換金の効率が悪く、負担との声があった。また、券の利用率が伸びなかった結果がある。

質問 やまのべ・まるごと・フェスティバルを春と秋の年2回開催することは考えているか。

質問 令和2年に実施した際に、店舗側から換金の効率が悪く、負担との声があった。また、券の利用率が伸びなかった結果がある。



健康寿命をのばそう！「ピンとシャン教室（輝らりやまのべ）」

町の財産を生かし うるおうまちづくり

朝日・山辺両町議会議員協議会

農作物の選果新システムと 環境整備の話し合い

朝日・山辺両町議会議員協議会が朝日町役場において、11月13日に寒河江・西村山郡区と東村山郡区の県議4名にも同席いただき開催されました。

現地視察研修では、2022年に新しく稼働したJ Aさがえ西村山広域多目的選果施設を訪れ、センター長の豊永氏より、管内1市4町のりんごを集荷できる広域多目的選果施設になったこと、選果処理速度が速く全自動で箱詰めまで行われること、また、東南アジアに300トン近いりんごを輸出できる能力があることなど説明を受けました。

協議会では、両町の課題について報告ならびに協議が行われ、活発な意見が交わされました。まず県道山形山辺線の整備については大蔵下原間、下原畑谷間の改良工事を引き続き県の方に要望していくことになりました。

鳥獣被害対策においては、それぞれの町での被害や防除対策の報告がなされ、それに対する支援がどのようになされているかが報告されました。ツキノワグマ、イノシシ、ハクビシンによる農作物の被害金額は、両町でそれぞれ令和

環境整備の話し合い

4年度において100万円を超しており、さらなる対策を講じる必要があるとのことでした。具体的には、電気柵の設置、新規狩猟免許取得支援、担い手確保支援などを充実する必要があるのではとの意見が出されました。

空き家対策については解体費用に対する補助や空き家バンクの運営状況、および改修支援が具体的にどのように行われているかが報告されました。両町とも空き家がどれくらいあるのか、また何年放置されているのか、危険な物件がないのかなどの実数を把握して、引き続き対策を講じることが必要ではないかとの認識でした。



新しくなった選果場で説明を受ける

商工会役員懇談会

商工業を守りながら 未来のまちづくりに役立てます

商工会役員と議員との懇談会が商工会館にて12月14日に開催されました。

4グループに分かれて話し合いが行われ、次のような意見が出されました。議会でも商工業発展のために尽力していきます。

- Aグループ
 - ・空き店舗を利用して地域の活性化につなげてはどうか。
 - ・アパートが少なく、宿泊施設もない。
 - ・後継者不足は一番の悩み。人材育成を考えなければならぬ。
 - ・市街化調整区域の問題で宅地にできない。
 - ・地域おこし協力隊に期待をもちたい。
- Bグループ
 - ・原材料高騰で経営悪化が進んでいる。
 - ・若い人の意見や発想を生かし、チャレンジする環境を作ってほしい。
 - ・賃上げも大変厳しい。
- Cグループ
 - ・地場産業の良さを知ってもらおうPRが必要。
 - ・山辺駅新駅舎で駅前の活性化を図っては。



商工会役員と活発な意見を交わした

- Dグループ
 - ・来年日立市との20周年を迎える節目として、交流をもっと図っては。
 - ・公共事業が少ない。
 - ・もっと経済人と議員の交流を。
 - ・町には未来の母親が2300人、もっと増やしたい。
 - ・人手不足、求人しても応募がない。
 - ・昼間人口が少ない。
 - ・中小企業を守るための条例を制定してほしい。

中山町・山辺町両町議会議員協議会

地域を「みず」から守る 最上流域治水について学ぶ

中山町・山辺町両町議会議員協議会が12月15日、ひまわり温泉「ゆ・ら・ら」(中山町)で開催され、両町にまたがる河川の治水対策について研修しました。

近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、全国各地で水災害が頻発しており、当町でも大雨のたびに浸水被害が懸念されていることから、山形河川国道事務所今野浩一流域治水課長を講師に迎え、国土交通省が進めている治水対策について説明を受けました。

講演では、中山町の市街化区域を流れている石子沢川流域を「特定都市河川」に指定し、治水安全度を向上させる取り組みが紹介されました。今後は河川改修・排水機場の整備、また雨水貯留施設、貯留機能保全区域の指定など、協議会を設置し、計画的に進めていくとし、令和6年3月の指定を目指しているとのことでした。

また、住民も災害時に取るべき避難行動をあらかじめ計画しておくことも必要と、行政機関だけでなく住民も積極的に関与していくことも大事だと話されました。

出席した議員からは、防災士の普及も必要だとの意見も述べられ、また、同席していただいた山形県議会鈴木学議員からは、「皆さんの意見をお聞きし、安心安全な社会の実現にむけ取り組んでいく」との決意をいただきました。町議会としても「災害に強いまちづくり」をめざし、町当局とともに積極的に行動してまいります。



国土交通省から治水対策について学ぶ

村山地方町村議会議長会議員合同研修会

短い質問で 内容を明確にわかりやすく

令和5年度村山地方町村議会議長会議員研修会が、大江町ふれあい会館において12月20日開催されました。「一般質問本番の取り組み方」と題し、日本公共経営研究所代表の宮本正一氏より地方議員本来の仕事や、決算書の見方、質問づくりについて講演いただきました。

- ・質問づくりの基礎は質問とは執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの
- ・課題を追求する質問が最も大事
- ・町民相談/興味のある課題を選択
- ・興味のある所からはじめて、すそ野を広げていく
- ・関係法などを熟読し、関係者などに面談し、関係課と協議する
- ・法律を学べばできることがある
- ・質問の効果は、ただ単に執行機関の所信・事実関係を明らかにするだけでなく、それらをただすことにより執行機関の政治姿勢・政治責任を明らかにさせる。結果として、現行の政策を変更し、新規政策採用などの効果を得るということ。
- ・短い質問で分かりやすく、中身が明確なほうが良い。AIにできない、心(愛)のある質問をするということも学びました。

※AIとは…Artificial Intelligence (人口知能)の略称。人間のように知的な処理能力を持つ情報システムのこと。



講師の軽妙なトークにあふれる笑顔

近隣市町のイベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 霞城観桜会	霞城公園	令和6年4月上旬~中旬 (桜の開花状況による)	各種桜関連イベント、ライトアップ等	山形市観光戦略課 回遊推進係 Tel.023-642-8404 (内線424)
上山市 上山市民俗行事 かき加勢鳥	上山城~市内 (中心市街地や温泉街 などを練り歩きます)	令和6年2月11日(日・祝) 午前10時~午後3時15分	江戸時代初期から伝わる、ケンダイというミノをかぶった若者に祝いの水をかけ、五穀豊穡と商売繁盛、火伏せを祈る上山の冬の風物詩です。ぜひご覧いただき、勢いよく水をかけてみませんか。	上山市観光物産協会 Tel.023-672-0839
中山町 2024 柏倉九左衛門家 ひなまつり	中山町岡地内 重要文化財旧柏倉家 住宅(九左衛門家) ほか	令和6年3月16日(土)、 17日(日)、20日(水・祝) 午前10時~午後4時まで (最終入場 午後3時30分)	柏倉一族の総本家である柏倉九左衛門家のひな人形を展示します。 また、旧柏倉家住宅の周辺に点在する一族の屋敷群でも各家に代々伝わるひな人形を飾り付けます。旧家の見所とともに春を迎えるひなまつりをお楽しみください。	2024柏倉九左衛門家 ひなまつり実行委員会 事務局 Tel.023-662-2175